

知事と区市町村長との意見交換（小金井市）

令和元年 10 月 10 日（木）

13 時 20 分～13 時 40 分

○**行政部長** それでは早速ではございますが、意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○**知事** 今日は御多用の中、西岡市長をはじめ市の皆様方には、都庁まで御足労お掛けいたしております。都政運営への多大な御理解・御協力改めて御礼を申し上げます。これから、ラグビー、ちなみに天候の関係で若干変更があるようでございますけれども、その後は来年の東京 2020 大会、その後の東京、そしてまた、御市におかれましての今後の発展などなど、いろいろと話を直接お伺いするという、そのような機会でございます。時間は短いかもしれませんが、どうぞよろしくをお願いいたします。

○**行政部長** それでは、西岡市長よろしくをお願いいたします。

○**小金井市長** よろしくをお願いいたします。小金井市長の西岡真一郎です。本日は大変貴重な機会をいただきまして誠にありがとうございます。早速でございますが、小金井市における取組や課題についてお伝えさせていただきます。東京都の施策事業展開につなげていただければと思います。私からは、大きく今日は 3 点、一つ目が都市計画道路について、二つ目が公共施設等の維持管理について、3 点目が子育て支援について、お話をさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

東京における都市計画道路の整備方針第四次事業化計画に関連し、小金井市内にある都市計画道路の二つの優先整備路線に関して、御要望させていただきます。こちらがプロジェクトでございますが、武蔵小金井駅、東小金井駅、小金井市域の南のエリアでございまして、野川が走っております。そしてその北側には、国分寺崖線、はけの緑、はけの森と呼ばれる国分寺崖線が連なっているところでございます。ここに、一つは 3・4・11 号線、もう一つは 3・4・1 号線ということで、第四次優先整備路線に選定をされたところでございます。まず、この二つの路線につきましても、小金井市のとても貴重な財産である国分寺崖線や都立公園などを通る計画となっていることなどから、市民や市議会の皆様方から多数の意見が寄せられており、地元の理解がとても重要です。私としましては、都市計画道路 3・4・11 号線については、都市計画マスタープランを尊重する立場でございます。しかしながら、この間、市民の理解の進展が十分であるとはいえない状況です。現時点では事業化に賛同いたしかねます。環境への配慮など、市民の理解を深めるための市民との意見交換の機会を、是非継続していただくとともに、その運営方法について、これまで以上に工夫していただくよう、引き続き丁寧な御対応を市長として強く要望いたします。なお、都市計画道路 3・4・1 号線につきましても、都市計画マスタープランを尊重する立場でもあり、市長としてその見直しを求めます。二つの路線につきましても、引き継ぎ丁寧に対応していただくとともに、是非小池都知事には現場にお越しいただき、現地を御覧いただきたいと改めて要望いたします。また、今後の進め方について、特段の御配慮をお願いい

たします。

続きまして、公共施設等の維持管理についてでございます。こちらのプロジェクター資料を御覧いただきたいと思っております。こちらは、小金井市が現在進めております、新庁舎（仮称）新福祉会館のイメージ図でございます。分散庁舎の解消、老朽化・バリアフリー対応、防災機能の強化など、本市の庁舎にかかる長年の問題の解決と併せまして、耐震強度の不足から、既に閉館した福祉会館を、地域共生社会の中心的役割を担う施設として、新たに複合施設として整備するものでございます。現在、基本設計を進めているところでございます。私ども小金井市に限らず、公共施設の再整備にあたりましては、様々な段階を踏むこととなるわけですが、このことに関連して、1点要望させていただきたいと思っております。こちらのプロジェクター資料でございますが、こちらは、小金井市の公共施設等総合管理計画の抜粋となります。本市の公共施設の整備状況としますと、昭和61年度までに、濃い青の学校教育施設を中心に整備をしまいいりました。平成13年度以降、平成22年度までの10年間は、駅前開発などのまちづくりを重点的に進め、市民の文化・交流拠点となっております。60周年記念式典では小池都知事にもお越しをいただきました、小金井宮地楽器ホールを武蔵小金井駅の駅前に整備するまでは、目立った公共施設整備を行ってきておりませんでした。しかしながら、当時の社会的使命を果たすべく整備してきた公共施設も、その6割強が大規模改修を行う目安となる建築後30年を越え、老朽化が顕著となっております。こちらのエリアですね。

改めて、次の資料でございますが、こちらは今後の公共施設に対する小金井市が掲げました基本目標でございます。公共施設には安全性が求められているところでございますが、少子高齢化社会の到来を控え、限られた財源の中であっても持続可能な行政運営を行いつつ、合理的な施設更新に計画的に取り組むことが大変重要と考えているところでございます。施設の更新、あるいは、長寿命化にあたりましては、様々な補助金・交付金など、特に市町村総合交付金の増額、対象範囲の拡大など、我々の要望に対し、多大なる御配慮・御支援をいただきまして感謝申し上げます。ありがとうございます。一方で、計画的な施設の更新、長寿命化にあたりましては、施設の現況を的確に把握し、数多くの施設のうち、老朽化が顕著な施設など優先的に取り組まねばならない施設を判別し、効果的かつ計画的に進めていくことが肝要と考えております。しかし、施設の劣化診断などに関しましては、国・都補助などにおいては、補助対象外となっており、施設の健全性の確認や大規模改修内容の精査などを容易に手掛けられる環境となっていない要因の一つになっております。つきましては、都民の安全・安心できる生活基盤の確保のため、市町村総合交付金、区市町村振興基金についての金額及び範囲の拡大に加えまして、施設劣化調査費用に係る御支援について、御検討をお願い申し上げます。

最後に、子育て支援についてでございます。こちらのプロジェクターの資料は、小金井市内における子育て施設の現況でございます。この数年で保育園が非常に増えてまいりました。私は、平成27年12月に市長就任後、子育て環境日本一という大きな目標を掲げ、様々なことに取り組んでまいりました。待機児童の解消につきましては、この4年で千人

を超える定員増を行ってまいりました。人口の微増傾向が続いている小金井市においては、今後は幼児教育・保育の無償化により、さらなるニーズが見込まれ、引き続き保育定員の確保・拡充が急務となっております。また、保育人材の確保など、保育に関わる課題のほか、ひとり親家庭の支援、子供の居場所づくりなど、子育て支援、子育て支援に関わる課題は山積しております。都におかれましては、現在の補助制度の継続拡充など、より一層の御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。また、10月から始まりました幼児教育・保育無償化は、非常に大きな制度変更であり、特に副食費が保育料から切り離されて、新たに保護者の負担とされるなど、利用者にとっても影響が多いものでありました。小金井市では、厳しい財政の状況の中にあっても、主食費・副食費ともに補助制度を創設し、給食費も無償になるよう、子育て世帯の経済的な負担軽減を図ることとしました。しかし、都内全ての保護者にとって十分な制度とはいえないと考えます。是非、都内自治体間でのサービスの格差を解消していただきますよう、東京都においてリーダーシップを発揮していただき、財政的な支援を御検討いただきますようお願い申し上げます。以上です。

○知事 三つの点についてのお話を伺わせていただきました。

まず、小金井都市計画道路3・4・11号線、それから、3・4・1号線についての御意見いただきました。広域避難場所へのアクセスの向上であるとか、生活道路への通過交通の抑制など、地域の安全性の向上などに資する重要な路線であると考えております。今お話ありましたように、様々御意見があることを承知いたしております。また、西岡市長も何度か丁寧という言葉が繰り返されました。都といたしましても、様々な意見があることをベースに、丁寧に対応してまいりたいと考えております。

それから、施設の関係でありますけれども、こちらの方は、これは日本全体といってもいいかもしれません。これからのこの人口減少によって、ちょうど高度成長期から、人口が増える右肩上がりの経済というところから今新しい局面に入ってきて、人口減少によって、様々な課題も顕著になってきているという中の一つの具体的な事例だと思えます。

そういう中で、人口減少などで公共施設等の利用需要が変化していくことが予測されるわけでありまして、その点の財政負担の軽減であるとか、平準化を図りながら、公共施設などの最適な配置を実現するということが重要なことでもあります。2020年の大会の会場も同じことで、新しくつくったわけですが、今後の予測であるとか、どういうふうに生かしていくのかというの、この2020後の課題であり、今もう既にそこをどうするかなどを考えながら、まずは大会を成功させていって、レガシーづくりをとるところであります。それとある意味共通するところがあるかと思えますけれども、どうやって公共施設を今後とも維持・発展させていくのかという大きな課題、これについては市町村総合交付金などについて、市町村への財政支援としての役割を十分果たしていくことが重要でございますので、これらについては地域の実情を踏まえながら、制度の充実に努めていきたいと考えております。

それから、待機児童対策については、これはもうまさしく、私自身の都政の最重要課題と位置付けたのと同じ共通の課題かと思えます。就任直後からも、保育所等の整備促進を

行ったり、それから、人材の確保、そして、定着してもらわないと、せっかくプロを育てながら別の仕事へ移られては大変ということで、定着も支援をしてまいりました。それから、利用者の支援の充実、これも併せますと三つが柱になるわけですが、保育サービスの拡充に重点的に取り組んでまいったところでございます。

市長もこれまでいろいろ御苦勞をされて、大きく減った年もあるし、また、いいサービスをする、また逆にこれは負ではなくて正のスパイラルかと思えますけれども、現在では111人という数字をこちらでつかませていただいているところであります。待機児童数です。在宅子育て家庭を支えるということとか、子育て広場での育児相談、保護者が病気や育児疲れなどの場合に子供を預かる、いわゆる一時預かり、ショートステイなど、市が行っておられる様々な取組についても、都といたしましても支援をさせていただいております。それから、全ての子育て家庭の状況を、妊娠期から把握して、継続した支援を行えるように、保健師さんたちによる全ての妊婦との面接から、育児パッケージの配布、いわゆるゆりかご・とうきょうでございますけれども、この実施を行っているところですが、今年度からは、さらにそこに加えて、未就園児の家庭などを対象に、食事の調理を行うヘルパーさんを派遣する取組の支援もそこに加えているところであります。是非こういった制度を、十分生かしていただければと思えますし、また都内の私立幼稚園では、基幹的な補助である経常費の補助、これを実施しておりますことと、それから、長時間の預かり保育を実施する私立幼稚園、こちらはTOKYO子育て応援幼稚園と名付けておりますが、都独自の補助に取り組むなど、様々支援を行ってまいりました。いろいろと使い勝手のいいものも工夫しながらまたお使いいただいているかと思えますし、また、これからの無償化で、どのようなひずみが出てくるのかなどもにらみながら、また一方で、在宅で子育てされている方とのこの関係で先ほどお話ありましたね。給食、副食の関係とか、そういったことなど課題もございますが、いずれにしましても、子育て家庭の支援、子育て環境の整備というのは、重要な課題でございますので、それに取り組んでおられる区市町村、積極的に支援をしていきたいと考えております。これからも子育て待機児童等々、市民の課題に果敢に挑戦していただければと思っております。

○行政部長 市長いかがでしょうか。

○小金井市長 知事から御回答、また御意見をいただきましてありがとうございます。1点目の都市計画道路に関しましては、意見交換の場というのは非常に重要だと思っております。是非これまでの経過を踏まえて、より工夫もしていただいて、意見交換を継続して開催していただきたい。これは何事もそうですが、出発点だと思います。そして、公共施設の関係におきましては、庁舎福祉会館の、今、基本設計に入ったところでございます。長年の課題でありました。これは庁舎や福祉会館、そして、保健センターという防災拠点・行政拠点としての庁舎。庁舎をこれ今6階建。これ福祉会館。この中には社協さんですとか、各種団体、そして、保健センター、ファミリーサポートセンターなどなどが入ってまいりまして、複合施設でございます。市民のための庁舎となりますように、懸命に努力をしてみたいと、このように思っております。引き続き御支援をお願いします。

また、子育て支援に関しましては、知事から様々な東京都の取組も御紹介いただきましてありがとうございました。私の基本方針としては、まずは切れ目のない子育て支援、そして、東京都などの様々な制度は、積極的に活用させていただくことを重視してまいりました。特に、保育従事者の宿舎借り上げは、非常に保育園の方々、関係者から好評でございます。小金井市も年々予算規模も増えているところではありますが、この制度は、まさに国補助や都補助を最大限活用させていただいて成り立っているものでもありまして、この組み立てが、東京都の中ではある意味時限的な要素も最初はあったかと思いますが、非常に多くの方々に御活用いただいているので、特に、保育人材の確保は保育サービスを向上させる。そして質を向上させるうえで、非常に重要な視点でございますので、保育園で一生懸命働いている方々の処遇を改善していただけるように、引き続き御検討をお願いしたいと、継続をお願いしたいと思います。

○行政部長 ありがとうございました。そろそろお時間になりますので、最後に知事から一言お願いいたします。

○知事 年末を目途に策定を準備を進めております。まずは、長期戦略のビジョンでありますけれども、その中にはかなり挑戦的に、合計特殊出生率2.07というのを目指すと、このように書かせていただきました。これもやはり、この数字は承知のように、維持するというのを、人口の動態を、今の人口を維持するということが目標になってまいります。そのためには、子育てしやすい環境、そして、子育てしながら経済的にも収入が確保できる女性の力、スキルを活かす、そのような総合的な対策が必要かと思っております。是非これからも小金井市が、また、東京都が持続可能な成長を続けるような、そのための政策をしっかりと取り組んでいただければと存じます。

今日はありがとうございました。

○行政部長 それでは意見交換を終わらせていただきます。ありがとうございました。